

このコーナーでは、男女平等参画をはじめとする様々なテーマの本を紹介します。
男女平等推進センター「パリティ」の書庫で貸し出していますので、ぜひご利用ください。



チャイルド・プア
～社会を蝕む子どもの貧困～
著者：新井直之
出版社：ティー・オーエン
タテインメント

見えない貧困問題と言われている子どもの貧困。今の、日本の子どもたちのリアルなケースを見る化し、自分の本当の想いや声を発信することすらできない子どもたちに代わってあるのがこの本。手にとってみれば、そこに女性の貧困問題もあり重く感じるのと同時に、自分の子どものように大切にしたい本です。



女子会2.0
編者：
「ジレンマ+」編集部
出版社：NHK出版

NHKのTV番組「ニッポンのジレンマ」のウェブサイト「ジレンマ+」公開の座談会と論考で構成された「女子会」。語る面々は千田有紀さん、水無田気流さん、西森路代さんと黒一点で挑んだ古市憲寿さん。白河桃子さん、石崎裕子さんの論考も加わって現代の「女子」たちの生きづらさがリアルに伝わる。



「産む」と「働く」の教科書
著者：
齊藤英和、白河桃子
出版社：講談社

今は、女性の生き方が難しくなっている。就職し、結婚し、妊娠するという一連の流れが、自然にはできにくく、意識して行動しないとできないと著者は説く。大学生女子だけでなく、全ての人に読んでほしい。

ステキに男女平等参画!

in
西東京

「男の子育て」編

No.1

中村竜洋さんは、学生時代の競技経験を生かし、毎朝近所の公園で長男の駿太君(6歳)と次男の奏介君(3歳)にアイスホッケーを教えています。パートナーの友美さんは「良いコミュニケーションの時間になっていますね。子どもたちもお父さんが大好きですよ」と笑顔を見せます。

竜洋さんは、子どもの誕生をきっかけに働き方を見直し、時間の融通が利く形に変えました。収入を最優先にするのではな



▲「毎朝、私が食事の支度や洗濯をしている間に、子どもと公園へ練習に行ってくれるので、家事がはかどりとても助かっています」と友美さん



▲お父さんとバスの練習をする駿太君と奏介君

く、子どもと接する時間を作りたいと思ったそうです。

「今の生活には満足していますが、仕事の効率を上げていきたいですね。一生懸命働くのは良いことですが、家庭とのバランスも必要です。家族とたくさんコミュニケーションを取れた方が楽しいし、仕事を応援してもらえると、もっとやりがいを持って働けるのではないのでしょうか」と話す竜洋さん。練習が終わった後、子どもたちを幼稚園に連れていくのも大切な日課となっています。